新年、明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年はお客様から多数のご注文をいただき、中でも看板の製作依頼が多く有り、「良い『顔』になった。」とうれしいお言葉をいただきました。

そして本年は焼酎事業が新たにはじまり、体制も変わりますが、地域と密着し嶺北をさらに盛り上げていきたく、昨年同様変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。

スタッフ一同

季刊誌 ばうむ baum-llc

新春号の紙面

ばうむ合同会社　代表挨拶
2012年　活動実績
れいほく地域人ネット「桂月」
商品紹介ページ

発行所
地域の総合商社
ばうむ合同会社
TEL 0887・76・3355
FAX 0887・76・3365
〒781-3609
高知県長岡郡
本山町助藤1372
（吉野川リビング協同組合内）
http://π/www.baum-llc.com

2012 活動実績

1月
- ○本山小・大豊小 環境教育実施

2月
- ○ばうむ東京事務所　開設

3月
- ●新型学習机「baum01」完成

4月
- ○高新住宅総合展示場「Lim」木工体験実施

5月
- ○「SLOW2012」開催

6月

7月
- ○「れいほく八祭」木工体験実施
- ○東京「スーパーよさこい」出店

8月
- ○「TOSAZAI展」
- ○「サニーフェスタ2012」出店

9月
- ○第8回高知もくもくランド
- ○香川県「ウッディフェスティバル」
- ○「土佐の豊穣祭」出店
- ○ぽっちりカフェの秋祭り 出店

10月
- ●本山町産業文化祭
- ○ミリカフェスティバル　出店

11月
- ○第2回　潮江こども祭&防災フェスティバル　出店

12月

●＝裏面記事参照

事業方針

地域の中にあるまだ十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。
また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供します。

行動の原点

変化に期待するのではなく己の力で未来を拓く

「ば」 万物に感謝し、自然と人との調和によって恵みが生まれる
「う」 美しい山間の町からみんなの笑顔がこぼれるように
「む」 無限の可能性に挑戦する

ばうむ合同会社では 嶺北杉を使用した木製雑貨を製造・販売しております。

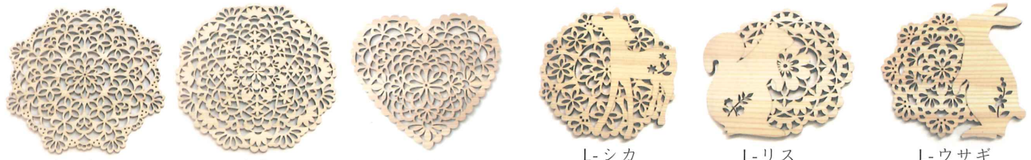
moku-lace coaster -s-
もくレース コースター（Sサイズ）
コーヒーカップやグラス、お湯飲みにもぴったりのサイズ。
約90mm×約90mm×5mm　¥700

S-A　S-B　S-C　S-D　S-E　S-F

moku-lace coaster -M-
もくレース コースター（Mサイズ）
マグカップでも十分な大きさ。ミニ観葉植物のプランターマットとして。
約110mm×約110mm×5mm　¥900

M-A　M-B　M-C　M-D　M-E　M-F

moku-lace coaster -L-
もくレース コースター（Lサイズ）
ポットマット、鍋敷きとしてはもちろん、飾り皿のようにプレートに立てて飾っても素敵。
約180mm×約180mm×6mm　¥2,000


L-A　L-B　L-F　L-シカ　L-リス　L-ウサギ

※動物柄のコースターはMサイズ（¥900）もあります。

magnet
マグネット
1セット（3柄）　¥840
約40mm×約40mm×5.5mm

冷蔵庫やボードもナチュラルに。
メモを留めるだけでもオシャレ。

tissuebox
ティッシュボックス
¥2,625
260mm×130mm×80mm

レース柄にカットされた形から
陰影を味わうティッシュボックス
空間のアクセントにも。

pen stand
ペン立て
¥1,575
95mm×95mm×117mm

小さすぎず、大きすぎない、ほどよいサイズで
オフィス用としても最適。文房具入れ以外にも
小物入れとしても使用できます。

remocon rack
リモコンラック
セパレーション4　(165×100×80)　¥2,310
セパレーション3　(125×100×80)　¥1,680

セパレーション4

セパレーション3

リモコンや眼鏡を置くにもちょうどいい
サイズ。すっきり綺麗に整理できます。

photo frame
フォトフレーム
L判サイズ（148×113）　¥1,680
2L判サイズ（209×155）　¥2,940

動物柄　レース柄

※この商品は横置きタイプです。

思い出の写真を飾るだけでより華やかに
暖かみのある演出をします。

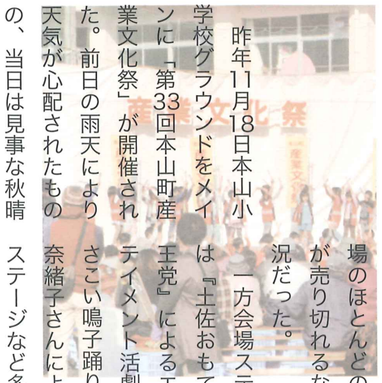
strap
ストラップ
全4種　各¥1,260

うさぎ　蝶　雫　ハート

レースやクリスタルをあしらったストラップ。
裏には布地を貼り、表裏違った雰囲気を楽しめます。
※布地の色・柄の仕様が変わる事があります。

※表示価格には消費税が含まれております。

本山町産業文化祭



昨年11月18日本山小学校グラウンドをメインに「第33回本山町産業文化祭」が開催された。前日の雨天により天気が心配されたものの、当日は見事な秋晴れとなり、開催と同時に多くの来場者があった。会場では地元の特産品の販売や出店が多数出店し、中でも商工会女性部やJA土佐れいほく、土佐あかうし研究会の出店ブースには列ができるほどの盛況ぶり。昼過ぎには会場のほとんどのブースが売り切れるなど大盛況だった。

一方会場ステージでは『土佐おもてなし勤王党』によるエンターテイメント活劇や、『よさこい鳴子踊り』、三宅奈緒子さんによる歌のステージなど多数のプログラムで会場を盛り上げる。もうひとつのメインである恒例の「餅まき」が始まる。大量の餅がステージからまかれると来場者は目の色を変え餅を拾いだした。

そして全てのプログラムが終了するとさきほどの活気は嘘のように静かに本年の産業祭も幕を閉じた。

ばうむ「焼酎事業」

一次産品に付加価値をつけ、安心安全な商品を提供し、町に雇用を生み出すことを目的とする自社の「焼酎事業」。

以前から農産品加工が出来ないかを考えていた時「土佐天空の郷」が日本一となり、それを焼酎で付加価値を付けていく事がそのきっかけとなった。

現在旧吉野中学校体育館を町から借りており、免許取得後、常勤一名と、期間従業員を3名程雇用し醸造開始する。今後本山町の酒屋での販売は下より都市部へも販路拡大を行い、天空の郷生産者の所得向上や、イベント事業の支援、雇用の拡大を目標に行っていく。

新型学習机「baum-01」

高知県産材を使い作られる自社の学習机。全面に木材を使用しているため手ざわりが良く、地元の学校等でこれを導入している。昨年7月、よりデザイン性に優れ、前作以上の強度を備え新たにリニューアルした。この新型学習机は「baum-01」と銘打ち、耐久性を調べるため日本工業標準審査会が実施するJIS性能試験を取り入れ、それに合格する。

デザインは土佐くろしお鉄道中村駅のリノベーションを手掛けた建築家川西康之氏により学校現場と共同開発を行った。

多くの子供達に使用してもらうことで「温もりと使いやすさ、ならびに地域の自然についても知ってもらいたい」と自社開発担当は話す。

田舎いんふぉ　旧立川番所書院

国道439号線大豊方面から立川方面へ車で20分ほどに位置する「旧立川番所書院」。のどかな立川地区に堂々とたたずむこの建物は江戸時代中期、参勤交代の際に藩主や家老級の上級武士が宿泊する宿泊施設として使用された。

別名「御殿」とよばれたこの建物は番所役人である川井惣左衛門忠勝により藩政時代につくられた建築物で茅葺き寄棟造り。間口8間半、奥行き6間半、藩主の寝所「上段の間」も入れると9室もあり、当時いかにここが重要だったかがわかる。

それから明治時代に入り、一般用の旅人宿として一部改装されたが、昭和20年に国の重要文化財に指定されている。200年以上たった現在でも大切に守られており、毎年多くの観光客が立ち寄っていく。

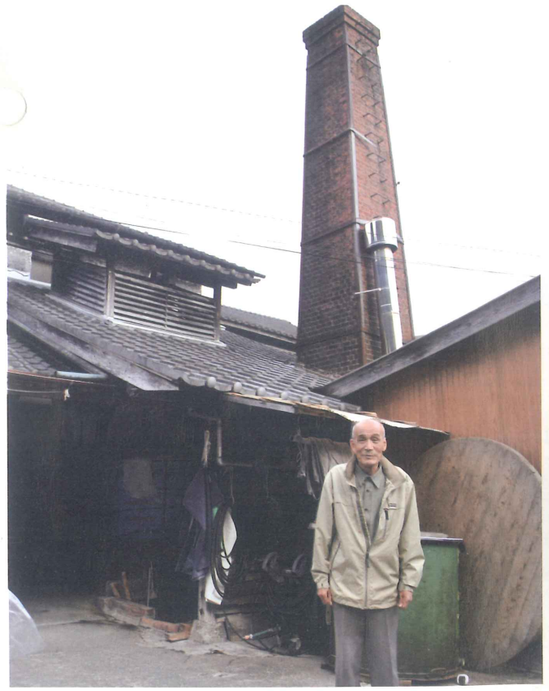
check! 地元限定豆情報　立川そば

大豊町名産のそばで、その歴史はさだかではないが、田んぼよりも畑が多い立川地区では主食としてそばを植える家が多かった。家庭料理や来客用として地元のみで食されていたが、番所院近くに「御殿茶屋」ができた際、地元のおばちゃん達がそこで「御殿そば」として振る舞ったことで現在の「立川そば」が生まれる。そば粉100%を使用し太麺だが、しっかりと歯ごたえがあり、そばの香りが引き立つ。「道の駅大杉」では通常の立川そばの他に、土佐食1グランプリでは準優勝に輝いた「担担風立川そば」なるものもある。店によって出汁も違うため、立川そばがでる店のオリジナルの味が楽しめるのもまた魅力的。

れいほく地域人ネット

土佐の田舎の土佐の酒

「桂月」土佐酒造株式会社



（記事編集　ばうむ合同会社　澤田）

「桂月」は「桂浜の月」と本県出身の文人「大町桂月」に由来し、一目で高知とわかり、なおかつ先代の蔵元さんが大町桂月を敬愛されていたということでこの名前となる。

「桂月」は現在5名の職人によって醸される。行程は部分的に機械化され昔のような大人数付きっきりで作業することは無くなっている。しかし機械化されても酒は「自然の産物」、温度や湿度などに影響を受けやすい。

じっくりと熟成された酒を試飲し、この蔵独自の「蔵ぐせ」が出されていて始めて販売を開始する。

こうしたブレない蔵人たちにより「桂月ブランド」は昔と変わることなく守り続けられている。

同酒造内の土蔵は「桂月館」として一般開放しており、大町桂月の作品や掛け軸など貴重な品々を展示している。また、入場料金と引換に桂月のワンカップ酒が貰え、その高知ならではの粋な遊び心に溢れるサービスもまた魅力的である。

今後の目標について現蔵元澤田輝夫さんは「これまでと同様県外の店舗と直接繋がり地域外へ広げると共に、これまで行ってきた『地元の人が喜んでくれる酒造り』をし続けたい」とそのすばらしき伝統を守っていく決意を語る。